

てんのおう

第 240 号

— 発行所 —
社会福祉法人一仁会
山口県周南市大字大河内
特別養護老人ホーム天王園
天王園シヨートステイ
天王園デイサービスセンター
天王園在宅介護支援センター
グループホーム天王園

スイカ割り

七月二十七日、聖光高校実習生が中心となって「スイカ割り」を行いました。



目隠しをして十数人の方が挑戦しますが、なかなか割ることができません。その間にも、「待ち遠しい。早く食べた〜い。」とあちらこちらから声が聞こえてきます。そして、いよいよ待ちに待ったスイカが手元。

音楽の集い

「甘い。美味しい。」と感激の声飛び交う、とても楽しい一時でした。



八月三日、マウンテン・マウスのお二人が来園。ギター演奏と楽しいトークで、時間が経つのも忘れるほどでした。なつメロが流れてくると、誰彼無しに口ずさんでいました。

デイサービスセンターあま壁面すくく

笑いヨガも体験。手の動きに合わせ大きな声で「わっはっは〜。」と笑います。自然と笑顔が溢れる楽しいものでした。

全員でへすくろくゲームが楽しめるように、壁一面にマスを貼りました。当たりマスには、**うた**をつたう **ゆび体操**をする **写真**をとる **全員に1ポイント**などがあります。**写真をとる**で、ハイポーズ。



紙芝居

利用者さんと職員が一体となって、何かやってみたいと考え、紙芝居(きつねの盆踊り)をやった。

みようと
いうこと
になりま
した。

利用者
さん二人
にお願い
して、お
話しをし
てもらっ
たところ、
大好評でした。

押し花教室

福田悦子先生による毎月一回の押し花教室は十年目を迎えました。

「皆さんに花火を見に行つた気分を味わつてほしい。」という先生の想いから、この題材になりました。



ブルーホームより

そうめん流し

暑い日が続くと「食」も細くなつてしまいがちです。夏を乗り切つてもらおうと八月十八日に「そうめん流し」をしました。

「そうめん流しは初めて」というYさん、「水の流れがとうとうしちゃったから取れたよ。」また、Mさんは「飛び上げるほどおいしかった」と好評でした。

いつもは勧めても食事の進まない方も、「腹も身の内ですよ」と声をかけたくなるほどの箸の勢いでした。

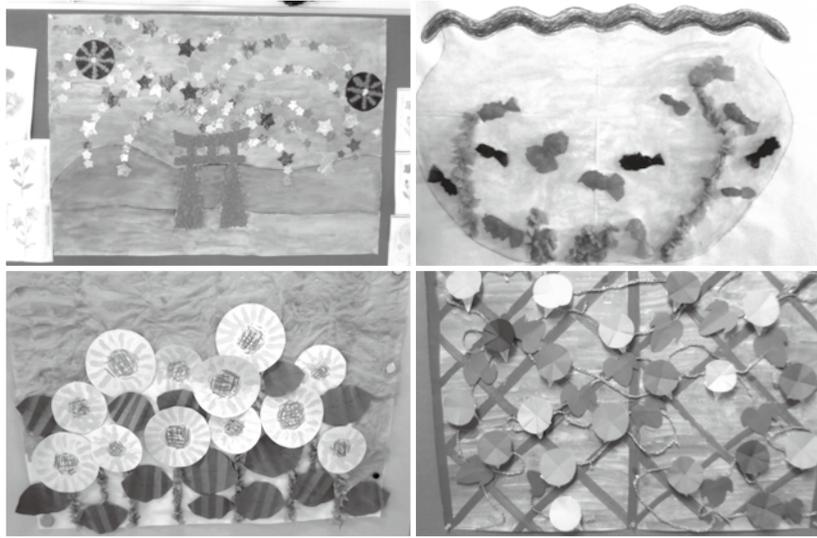


なかなか思うようにそうめんを器に入れることができない方もいましたが、季節の野菜と一緒に味わっていただきました。

ひと時の涼を感じ取っていただけたようで、「また近いうちにお願ひね」と言っていたいただきました。

ショートステイより

○季節の壁飾りを皆さんで協力して作りました。夏の風物詩の花火、金魚、アサガオ、ひまわりなど手間のかかる作業でしたが、完成した時の喜びはひとしおだったようです。



○畑で収穫した新鮮な夏野菜を使って色々な料理にチャレンジをしました。皆さん、昔取った杵柄で手際よく皮ムキ、切ったり、炒めたり楽しそうでした。ゴーヤはチャンプルに、焼きナス、カボチャの煮物、キュウリの塩揉み、トウモロコシは湯がいて戴きました。

在宅介護支援センターより

《認知症カフェ》ご存知ですか？

今、認知症カフェが全国的に広がっています。本人・家族だけでなく、誰でも気軽に参加・交流できるのが特徴です。その形態も様々で、認知症予防や認知症ケアをテーマにした勉強会や介護者間の情報交換、飲み物を飲みながらおしゃべりを楽しむような場もあるようです。

熊毛地域でも、月一回（開催日は、お問い合わせください）、ゆめプラザ熊毛2階で「くまげカフェ」を開催しています。時間は午前十時から午前十二時、料金は一人1000円です。誰でも参加できる楽しい場です。興味のある方は一度足を運んでみてはいかがでしょうか？



8月誕生日の方々

- ☆沖本 富 様 : 九十六歳
- ☆坂田美代子 様 : 九十一歳
- ☆河村 素子 様 : 八十六歳
- ☆金子 イト 様 : 九十七歳
- ☆兼原マサコ 様 : 百 歳
- ☆友澤 雅子 様 : 七十七歳
- ☆篠原ナスコ 様 : 九十一歳
- ☆河谷サワ子 様 : 九十一歳
- ☆松本 福江 様 : 八十八歳



編集後記

今年の夏は例年以上の猛暑で、うだるような暑さが続いています。そんな中、日本の真裏ブラジルでは、リオデジヤネイロオリンピックが開催され、日本選手の活躍、頑張りには感動と励みとして、胸の熱くなる場面が沢山あった十七日間でした。次回開催はいよいよ東京です。皆さん楽しみですね。

また、風に秋の気配を少しは感じるようになりましたが、まだまだ残暑は続きますので、体調を崩さないように小まめに水分を補給しましょう。